令和３年第１０回岐阜市教育委員会　定例会
令和４年度岐阜市立義務教育諸学校教科用図書採択に関する議事録

日時：令和３年７月２８日（水）
午後 3 時 30 分~午後 4 時 00 分
会場：岐阜市役所 10 階　10-2 会議室

【教育長】
それでは、第４２号議案について、説明をお願いする。
令和４年度岐阜市立小学校の教科用図書の採択について、最初に確認事項があるため、それらについて、事務局の学校指導課長より説明をお願いする。

【事務局】
はじめに確認事項について説明をする。
岐阜県の令和４年度使用小・中学校用教科用図書の採択基準の１基本方針（１）～（６）により、県の指導、助言又は援助を踏まえ、採択権者がその権限と責任により、採択を適切に行うことになっている。
次に、小・中学校用教科用図書について、学校教育法附則第９条第１項の規定により教科書以外の教科用図書を使用する場合を除き、基本的に令和２年度と同一の教科用図書を採択しなければならないこととなっている。
また、無償措置法施行規則第６　条各号に掲げる場合には、令和２年度に採択した教科書と異なる教科書を採択することができることとあるが、第６条は、採択した教科書が発行されない場合や、採択地区に変更などがある場合であり、岐阜市はこれに当てはまならい。
関係法令にかかわって、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」第１５条に、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は４年となっている。小学校は、令和２年度から、中学校は本年度から新しい教科書を使用しているため、本年度は、小中学校ともに採択替えのない年度にあたるが、昨年度と同じ教科用図書を採択することが法で定められている。
令和３年３月３０日付け、令和４年度使用教科書の採択事務処理についての国からの通知には、先ほど説明した通り、小学校用の教科書について令和３年度においては、令和２年度と同一の教科書を採択しなければならないことと示されている。中学校用教科書についても、令和２年度と同一の教科書を採択することと示されている。今年度岐阜市立小・中学校で使用している教科書は一覧の通りである。
中学校の採択に関わり、自由社の「新しい歴史教科書」について、教科用図書検定規則に基づき、検定審査不合格の決定の通知に係る年度の翌年度に行われた再申請により、令和２年度に文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることとなったことから、無償措置法施行規則第６条第３号により採択替えを行うことも可能であると示されている。
この通知を受け、岐阜市としては、（２）の（イ）に示されているように、採択替えを行うか否かは、採択権者の判断によるべきものであり、その際、都道府県教育委員会において行う新たに発行されることとなった図書についての調査研究の結果を踏まえ、また、本市での調査として昨年度の採択の理由や検討の経緯及び内容等を踏まえて判断することとした。
今年度は、６月２４日から７月７日まで「教科書展示会」を開催した。今年度、岐阜市立小・中学校で使用している教科書に加え、自由社の「新しい歴史教科書」の見本本を展示した。その中で、現

在使用している英語の教科書について１件、自由社の歴史教科書について２件のご意見をいただいた。
　本委員会の内容については情報公開の対象になり、本日の内容も、９月１日の情報公開の際には、議事録としてホームページに掲載させていただくので、ご承知おきいただきたい。

【教育長】
　ただいま事務局から説明があったように、令和４年度使用小学校用教科用図書については、令和２年度と同一の教科書を採択することとされており、岐阜市採択案を示している。
　令和４年度使用小学校用教科用図書岐阜市採択案についての意見をお願いする。
　これは基本的に２年度と同一のという形だが、よろしいか。
　それでは、採決をする。第４２号議案について承認してよろしいか。

　・委員全員より「異議なし」の声

【教育長】
　第４２号議案について承認いただいた。
　第４３号議案、令和４年度岐阜市立中学校の教科用図書の採択について、令和４年度使用中学校用教科用図書岐阜市採択案を示してある。
　はじめに、歴史の教科書の調査研究について、事務局である学校指導課長より報告をお願いする。

【事務局】
　歴史の教科書の調査研究は、６月２１日に、昨年度も中学校「歴史」の教科書を調査研究した同じ４名の研究員により、県が作成した調査研究資料も参考にして、終日かけて集中して行った。その調査研究について報告をする。お手元に教科書見本本を用意してあるので、必要に応じて該当箇所を確認いただきたい。
　調査研究の結果がまとめてあるが、自由社以外は昨年度行った調査研究の結果となっている。では、調査研究を行った自由社と今年度使用している東京書籍について報告をする。
　資料①の着眼点に基づいて、「自由社」の歴史教科書の特徴・よさを資料②③④にまとめながら、調査研究を進めた。
　資料②着眼点１（４）「学びに向かう力、人間性等を涵養する学習」にかかわって、見本本の２５３ページにあるように章末に「時代の特徴を考えるページ」などがあり、事象の共通点を考えさせたり、時代の流れをつかませたりしながら、習得した知識を活用して主体的な学びを促そうとしている。また着眼点２（１）「学習意欲を喚起するための題材、教材、素材、資料等」にかかわって、見本本の９９ページにあるように多彩なコラムにより、生徒の学習意欲を喚起しようとしている。こうした点が自由社の特徴として挙げられる。
　一方で、今年度使用している「東京書籍」の歴史教科書の特徴・よさは、昨年度報告したとおり、資料②着眼点１（３）「思考力、判断力、表現力等を育成する学習」にかかわって、教科書１９ページにあるように「みんなでチャレンジ」では、小集団での対話活動が効果的に取り入れられていることで「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう工夫されている。「みんなでチャレンジ」はいたるところに記載されており、学習した後に仲間と討論をして学びを深めることができる工夫がある。また着眼点１（４）「学びに向かう力、人間性等を涵養する学習」にかかわって、教科書２８２ページ

にある「歴史のまとめ」では、社会参画の基礎を養うことができるように、環境・エネルギー、人権などの持続可能な社会をつくっていくためのテーマ例あり、これに基づいて自分でテーマを設定して歴史を振り返りながら、これからどう生きていったらよいのかを考えられるような工夫がある。冒頭のカラーページの次には、持続可能な社会の実現に向けて歴史に学ぶとあり、なぜ歴史を学ぶのかについて考える視点が各ページに示されており、最後に自分で考えをまとめていく流れとなっている。また、他分野・他教科とのつながり、ＩＣＴの積極的な活用についても随所に掲載されており、学びの広がりや深まりを生み出せるようにしている。

これらの調査研究をもとに、評価一覧に「自由社」の評価を新たに追加した結果、今年度使用している「東京書籍」の評価が引き続き、上位となった。

現在使用している「東京書籍」の教科書について、現職教員の意見は一覧のとおりであり、新しい学習指導要領に沿った学びができているという評価である。

以上のことから、令和４年度使用中学校用教科用図書　岐阜市地区採択案とさせていただきたい。

【教育長】
令和４年度使用中学校用教科用図書岐阜市採択案について、意見をお願いする。

【委員】
東京書籍の教科書でよろしいと思う。

別の話で申し訳ないが、最近、先生方の働き方改革ということで、テストを業者テストにする場合が増えてきていると思うが、業者テストというのは、この教科書発行者が作るテストか。

【教育長】
事務局に説明をお願いする。

【事務局】
そうとは限らない。

【委員】
先生方がテストを作成するということか。

【事務局】
業者にテストをお願いする場合は、必ずしも発行者が作っているテストではなく、ほかの業者が作っているテストを採用している場合もある。

各教科書のこういうところに対応しているというのが出てくるので、それを見て、自校の学校の進み具合とマッチするテストを選んで業者から購入してテストをするという形になる。

【委員】
教科書についているわけではなくて、別にまた購入をして各学校で実施することを承知した。

【教育長】
社会科の歴史だけが今年度新しく自由社のものが出てきたということだが、結果としては今年度と同じようにということである。

それでは、採決をする。第４３号議案について承認してよろしいか。

・委員全員より「異議なし」の声

【教育長】
第４２号議案について承認いただいた。